

手話言語の国際デー／国際ろう者週間のご案内

手話言語の国際デー（International Day of Sign Language）

毎年9月23日は「手話言語の国際デー」です。手話言語の国際デーは、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、「手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国すべてにおいて手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進する」とされています。また、9月23日は1951年に世界ろう連盟（World Federation of the Deaf：WFD）が設立された日です。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

毎年テーマが決められており、2026年のテーマは「ろう者人権宣言（Declaring Deaf People's Human Rights）」です。

また、WFDの働きかけにより、2022年から世界各地でWFDのロゴの色である「世界平和」を表す青色（原則として#007EC4）のライトアップを行っています。連盟も毎年、全国各地での青色のライトアップを働きかけるとともに、「手話言語の国際デー」の記念イベントを実施しています。2025年は、47都道府県448市区町村862か所にてブルーライトアップを実施しました。

国際ろう者週間（International Week of Deaf People）

「国際ろう者週間」はWFD主導のもと、1958年9月にイタリアのローマで始まりました。WFDの最初の世界会議が開催された月を記念して、9月の最終週（10月をまたがない最終週の、月曜～日曜）を「国際ろう者週間」としています。



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE

毎年、世界中のろう者の家族・手話言語通訳者・仲間たちなどを含む、ろうコミュニティでは、各国の政府や行政をはじめ、市民に向けたアピールに取り組むとともに、さまざまな関係者が関わっていくことを歓迎しています。

また、この国際ろう者週間では毎年、1日ごとに異なるテーマを定めています。詳しくはプロジェクト公式ページをご覧ください。

【問い合わせ先】

一般財団法人全日本ろうあ連盟 国際委員会

E-mail：jfd-km@jfd.or.jp

TEL：03-6302-1430／FAX03-6302-1449